



## 《ADVAN CUP 2018 特別規則書 ver.1》

2017/1/13up

昨年からの変更点には **赤文字/太字/下線** で記す。

### 1、開催クラス

GT1、GT2、**GT-R(レンタルカート)**

### 2、レース方法

①練習走行:大会スケジュール参照 ②決勝:**5時間(300分)**

※スケジュールの進行状況および諸事情によりレース時間が縮小される場合がある

### 3、練習走行:

45 分間。全クラス混走とする。

### 4、コースイン

原則としてコースを走行しているマシンが優先となる。ピットロードからコースへ侵入した際、2コーナーまでアウト側を走行する。後続車がない事を確認してからコースへ復帰する。

### 5、ピットイン

ピットインする際にはアウト側に大きくラインを外し、周囲に合図を出すこと(手を上げる)。また、急な減速や走行ライン上から突然ピットインをする行為は、**大変危険！十分に注意すること。**下記の箇所にパイロン(障害物)を設置する。これらに触れるような事があれば、ペナルティを課す場合がある(1回目/警告、2回目/ペナルティー)。



## 6、ピットロード

ピットロードの通過速度は徐行とする。危険な走行(ヒーティング行為など)や速度超過(30km/h以下)を発見した場合、ペナルティーを課す場合がある(1回目/警告、2回目/ペナルティー)。ピットロードでの追い越しを禁止する。

## 7、リタイヤ

事故を起こし、自力で再スタートした場合でもチェックの為、停止を命じる場合もある。また、コース内ではドライバーの装備(ヘルメット、グローブ等)を外してはならない。GT-3 車両のみ軽度で修復可能な場合はスタッフが修理を行い、修理可能、不可能の判断は主催者が有するものとする。

## 8、ペナルティーについて

ペナルティーについては“新東京サーキット統一規則書”を参照。また、レース当日において主催者側が『ペナルティー行為に当たる』と判断された行為については、ペナルティーとして課す場合がある。課されるペナルティー内容についてはその時点で発表、実施される。

・ホームストレート、アウト側からの追い越しを禁止する。

## 9、ペナルティー提示方法

ペナルティー対象が発生した場合はコース上メインポストから黒旗とゼッケンNoが提示される。提示されたカートは速やかにピットインし、オフィシャルからストップペナルティーもしくは失格が命じられる。ピットストップペナルティーの場合、ペナルティー消化後にオフィシャルの指示で再スタートが可能。

・ペナルティーエリアでストップしている間は、一切の作業を認めない。

## 10、ドライバー走行時間について

エントリーした全ドライバーは必ずレースに参加すること。決勝時において、1回の走行につき最低走行時間を10分以上、とし最大走行時間は40分間と、定める。走行時間が超えてしまった場合は(スタッフ確認)、超えた時間(分) × 10 = 完走周回数より減周とする。なおドライバーがセンターラインを通過したらスタートとし、ピットロードに進入したら走行時間の終了とする。

## 11、ドライバー交代

レース中のドライバー交代は全チーム、指定されたチームパドック前、もしくは給油所にてエンジンを停止した状態で行うこと。再始動についてはチーム内で行う。交代を終えたドライバー・チームは配布される“ドライバー走行時間の管理表”に記入すること。規定回数に満たないチームは失格となる。

◆GT-1、GT-2、**GT-R**クラスのドライバーチェンジについて◆

全チーム **12回**(給油時のドライバー交代も含む)

**GT-Rのドライバーチェンジについては開催概要の通りとする。**

12、セーフティーカーおよびフルコースコーション

コース上でのストップ車両が発生した場合、主催者の判断によりセーフティーカーが介入される。セーフティーカーがコースイン後、原因車両は自走してピットへ戻ることを禁止する。セーフティーカー介入決定後、各ポストは**黄旗**メインポストは**SCボードと黄旗**を提示しセーフティーカーが先頭に関係なくコースインする。すべての車両はペースを落とし、先頭の車両はセーフティーカーを先頭に1列に整列しなければならない。その際の追い越しは一切禁止。ただし、トラブルにより隊列について行けない場合は、片手を上げ、後続に合図しながらラインを外すこと。フルコースコーション中にピットインは可能。セーフティーカーがピットインし、メインポストで**緑旗**が提示された瞬間より解除される。

13、施設およびカートの破損

施設およびレンタルカートの破損はすべて、そのカートに乗っていたチームに修理代をご請求させていただきます

14、チェーンオイル塗布

GT-R クラス全チームにチェーンオイルの塗布をお願いします。塗布を怠るとチェーンが切れる可能性が高まります。方法は給油所にて用意された指定チェーンオイルを塗布すること。塗布の際、必ずエンジンを停止し、最低2回転以上チェーンオイルを塗布すること。

15、スタート時の燃料および給油

◆GT1、GT2 クラス◆

主催者側で指定された給油所にて、各チーム内で燃料を安全に給油すること。給油用のガソリンタンクは主催者より配布される。それ以外の持込みの使用を認めない。イベント終了後には返却すること。1回に給油できる量は下記の通り。

**給油内容については開催概要の通りとする。**

◆給油時での3分間ストップについて◆

1回の給油に対して**3分間のストップ**と**ドライバー交代**を行うこと。指定エリアにおいてエンジンが停止している状態を確認した後、スタッフにより3分間のカウントが開始される。3分間を計る作業は、すべてスタッフの手によって行われる。給油時には給油所でのドライバー交代が義務付けられる。

また **3分間のストップ中、前のカートが出走した場合は前に詰めること**。ただし給油、塗布中の場合はその作業が優先される。前が空いたからといって、後ろの車両が前の車両を

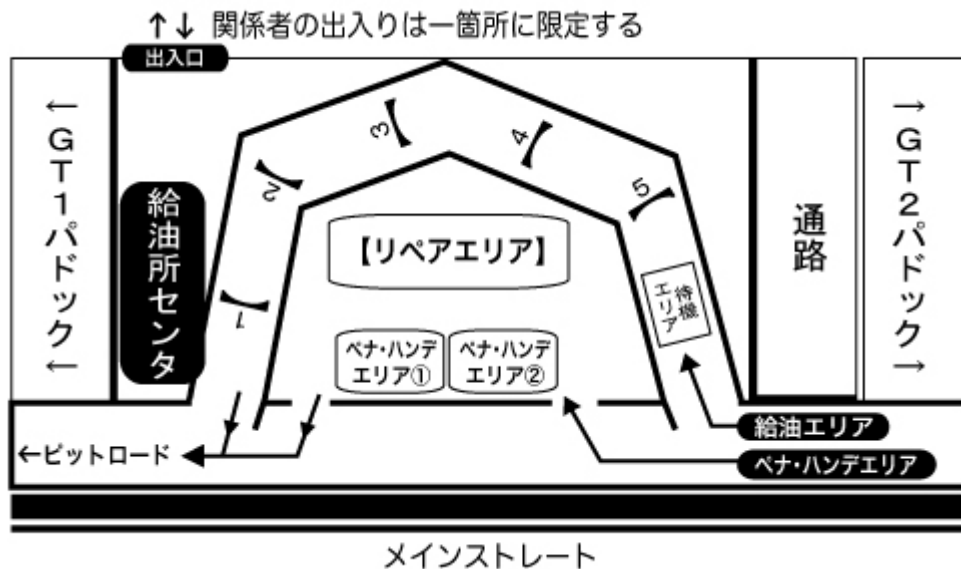
追い抜いて給油所に入ることはできない。ただし、アクシデントにより前進できないとスタッフが判断した場合は、スタッフの指示で追い越すことができる。

#### ◆給油所での停車台数、待機車両について◆

給油の際はチーム内で消火器をいつでも使用できる体制で給油する。給油所で給油できる台数は**最大 5 台**までとする。しかし**満車時1台までの待機は可能**(セカンドエリア)。それ以上の台数は給油所にて待機することはできない。なお、セカンドエリアで停車している待機車両への作業は一切認めず、3 分間計測も行わない。

#### ◆給油所のレイアウトについて◆

以下のように定める。ただし当日、変更する場合もある。



※給油所でのメンテナンスは不可。自身のパドックに戻って作業を行うこと※

#### 16、レンタルカート(GT-R)の注意点

レンタルカートは貸し出した状態からの変更(セットや改造、タイヤ圧含む)は一切認めない。ペダル位置変更を認める。また、考え起こりえるトラブルとしては…

- ・ 縁石使用によるホイールハブの破損(タイヤの脱落)やシャフト破損
- ・ ペダルを強く踏みすぎてワイヤーが伸縮してしまう/切れてしまうなど。十分に注意して取り扱うこと。
- ・ メンテナンスについては十分に行っているが、耐久レースともなると予想できないトラブルが発生することがあるので、ご理解ください。

## 18、ドライバー走行時間の管理表の記入について

**【記入例】 ドライバー走行時間の管理表 【記入例】**

GT-1 GT-2 (No. 001)		チーム名 チーム新東京				
スタート時間	12:00	走行時間	行った作業に○をつけてください			
ドライバー氏名	東京 太郎	20分	ドライバー交代	給油作業	リセ/ハリデストップ	リペア
ピットイン時間	12:20		その他→			
コースイン時間	12:22	走行時間	行った作業に○をつけてください			
ドライバー氏名	千葉 花子	8分	ドライバー交代	給油作業	リセ/ハリデストップ	リペア
ピットイン時間	12:30		その他→	黄旗無視		
コースイン時間	12:33	走行時間	行った作業に○をつけてください			
ドライバー氏名	千葉 花子	30分	ドライバー交代	給油作業	リセ/ハリデストップ	リペア
ピットイン時間	13:03		その他→			
コースイン時間	13:08	走行時間	行った作業に○をつけてください			
ドライバー氏名			ドライバー	給油作業	リセ/ハリデストップ	リペア

合計で10分以上、40分以下であればOK

レース終了後、直ちに事務所へ提出すること。提出がないチームは完走扱いにならない。

## 19、車載カメラについて

取り付けを認める。**フロントカウルの計測器よりも下の位置を推奨する**。カメラの高さが計測器を越えないように注意すること。スタッフが不適切と判断する箇所への取り付けを認めない。『車載カメラ』として一般販売されているカメラの使用は認めるが、その他の携帯電話やハンディカムなどの端末は使用を認めない。

## その他

- GT-1、GT-2 クラスの車両は無理なオーヴァーテイクやパッシングせず、安全に追い抜く事。また、新東京サーキットメインストレートのアウト側からの追い越しを禁止する。マシンとガードレールに挟まれた場合、重大な事故に繋がる恐れがあるため。
- GT-R 車両**は原則として、ライン側をGT-1、GT-2に譲ること。

### 【お願い】

今大会では、全ての参加者様に安全に、本気でスポーツカートを楽しんでいただく事が最大の目的となります。スポーツカートとはいえ、最高速度は70~80kmを超え、一歩間違えば大きな事故に繋がる可能性もあります。そんな中で参加者みなさまが、安心して楽しめる大会を目指して運営をして参ります。参加される皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(株)新東京サーキット代表取締役  
大野聡